

# 埼玉県地方産業教育審議会（建議）の概要

## 本県における商業教育の在り方について

### ～新しい時代のニーズに応えるビジネス教育を目指して～

#### はじめに

##### 社会の動き

- イノベーションによる Society 5.0、第4次産業革命の到来
- 新型コロナウイルスによる未曾有の経済危機

##### 国の動き

- 人口減少・少子高齢化による生産年齢人口の減少
- 「骨太の方針」における「デジタルニューディール」の推進
- 新高等学校学習指導要領を令和4年度入学生から年次進行で実施
- 「GIGAスクール構想」の実現に向けた環境整備

##### 県の動き

- 本県における人口減少・少子高齢化の進行
- 公立中学校卒業生数の減少による県立高等学校再編整備の必要性

#### 定義

##### 本県における魅力ある商業教育

「新しい時代のニーズに応え、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成し、実社会につながるビジネス教育」

## 1 本県商業教育の現状と課題

### (1) 商業教育の現状

#### ア 商業に関する学科を設置している高等学校の配置

- 本県には商業に関する学科を設置している公立全日制高等学校が17校（単独校が8校、併置校が8校、市立の併置校が1校）
- 上記17校に、商業系列を主とする総合学科高等学校1校を加えた18校が本県における商業の専門高校

#### イ 生徒募集

- 近年は多くの学校、学科で志願確定倍率の低下傾向
- 平成31年度入学者選抜では、初めて商業科全体の倍率が1倍未満

#### ウ 教育課程の編成

- 高等学校学習指導要領の商業科に属する科目は全20科目で構成
- 「課題研究」や「商品開発」において、地域の企業等と連携した取組を実施

#### エ 進路指導

- 平成26年度以降、就職、進学ともに約50%で推移
- 職業分類別では事務従事者が最も多く41.8%、次いで生産工程・労務作業者が24.7%

#### オ 研究団体の取組

- 商業教育に関する研究団体である埼玉県商業教育研究会
- 昭和23年に発足し、現在の会員校71校・会員数627人

### (2) 商業教育の課題

#### ア 生徒募集

- 他の専門学科や普通科と比較して欠員補充人員が多数
- 中学生にとって「初めから希望する学校」ではなく、経年変化は減少傾向

#### イ 教育課程の編成

- 学習活動の中心が会計分野及びビジネス情報分野の知識・技術の習得
- 全国と比較するとマーケティング分野、ビジネス経済分野の編成率が低水準

#### ウ 進路指導

- 全国と比較すると4年制大学進学率及び県内就職率が低水準
- 産業界から求められる知識・技術の高度化による、大学や専門学校等の上級学校との連携を強化する必要性
- 事務職、販売職などは将来的になくなる可能性が高い職業であるため、多様な職業や専門性の高い職業に就くための資質・能力を育成する必要性

## 2 魅力ある商業教育を推進するための方策

### (1) 実践的な教育課程の編成

#### ア 時代のニーズに応える教育課程の編成及び指導内容の充実

- マーケティング分野、マネジメント分野の科目の必履修編成及び4分野をバランスよく学べる教育課程編成
- ケーススタディやビジネスアイデア・ビジネスプランを検討する学習活動等による実践的・体験的な商業教育の展開
- 指導内容、学習教材等に全校統一の一定の枠組みを設定
- 協調学習やPBL(Project Based Learning)の導入による資質・能力の育成

#### イ 地域社会と連携した取組

- 地域の教育力を最大限活用した地域の持続的な発展に向けた取組の推進
- 「コミュニティ・スクール」の導入による地域連携の一層の強化

#### ウ 企業等と連携した取組

- インターンシップやデュアルシステムの単位認定の導入
- IT企業等と連携した専門性の高い学習活動の展開

#### エ 高等教育機関と連携した取組

- 単位認定等を含めた包括的な連携協定の締結
- 高度な専門教育の実現に向けた学習制度の構築

#### オ 学校間・学科間で連携した取組

- 学校間・学科間の学びを共有・融合し、連携・協働する取組の推進

### (2) ICT環境整備等の充実を踏まえた取組

- 情報リテラシーを育成する視点でのICT環境活用事例の検討
- 各学校の特色化のためのICT環境の弾力的な整備

### (3) 専門性の高い指導者の養成・採用

- マーケティング分野、マネジメント分野に関する悉皆研修制度の構築
- 企業のマーケティング部門や大学・大学院での長期研修の設定
- 「プログラミング」についても同様の研修を実施
- IT企業のエキスパート等の外部人材の活用及び特別選考による採用

### (4) 「目指す学校像」等の見直し、「スクール・ポリシー」の策定

- 学校設立の経緯や現在及び将来の社会、地域の状況を踏まえた「目指す学校像」の見直し及び学校内外への共有
- 入学から卒業まで一貫性があり、組織が一体となった教育活動を展開するための「スクール・ポリシー」の策定

### (5) 魅力ある商業高校づくり（適正配置等）

- 単独校及び併置校の県内の適正な配置についての研究・検討
- 商業高校のフラッグシップ校となる拠点校の整備による、高度で先進的な教育課程の研究開発
- 全県的及び地域ごとのバランスを考慮した上での各学校の位置付け及びニーズの明確化
- 時代のニーズを考慮した適切な学科名への改編・整理

## おわりに

- これまでビジネス社会で活躍する有為な人材を多数輩出してきたことへの敬意
- これからの時代で求められる資質・能力を見極め、各学校の「目指す学校像」及び「スクール・ポリシー」を適切に定めた上での、地域の産官学が一体となった生徒の育成
- 今後の社会の中で必要となるスキルを見極めた上で、学習活動の見直しを図ることによる商業教育の役割・必要性の向上
- 新しい時代のニーズに応える職業人を育成することによる本県商業教育の活性化に期待
- 県教育委員会が本建議を真摯に受け止め、商業教育の更なる発展に向けての施策や充実する取組に反映するとともに、本県における商業教育が未来を生きる生徒の資質・能力を力強く育成することに期待